

くばた あやの 久保田 彩乃

ラジオパーソナリティー、インタビュアー

郡山市生まれ。
東京女子大学文理学部史学科卒。震災を機に秋田放送を離れ、
郡山コミュニティ放送に勤務。2012年、フリーとなり、
臨時災害FM「おだがいさまFM」のパーソナリティーを務める。
現在はFM 栃木のDJパーソナリティーとして活動しながら、東北大学大学院
情報科学研究科修士課程で“地域と子ども、メディアの関係”を研究中。

おだがいさまFMのラジオパーソナリティーとして、富岡に帰る人、帰らない人、
帰りたくても帰れない人…さまざまな立場の町民を取材するうち、
「情報を伝える」ことよりも、「情報を伝える技術を教えて、自分の意見を
自分で発信してもらう」ことに関心を持つようになりました。

2014年から富岡町立小中学校三春校5年生の総合的な学習の時間で、子どもたちに
ラジオ番組の制作を教えてきました。この授業では、子どもたちが自分たちの目線で
仮設校舎の楽しさ、すばらしさを取材し、作品を完成させます。

この経験が、私を「伝える側」から「伝え方を教える側」へと変えていったのかも
しれません。私自身も、もっと“地域と子ども、メディアの関係”を追求したくなり、
東北大学大学院に進学。現在はパーソナリティーとして活動しながら、
富岡町の子どもたちとのメディア制作を中心に研究を進めています。

ラジオは比較的多様な意見を出しやすく、交流しやすいメディアです。
富岡に帰る子、帰らない子。立場の違う子どもたちが、自分でメディアをつくり、
情報を発信していくことで、「それぞれの意見を認め合いながら、みんなで
地域のことを考えていこう」となっていっただけいいなと思っています。



ラジオ番組制作からはじまった
富岡町立小中学校三春校のメディア制作の風景